



第434号 2023年5月 461-0004 名古屋市東区葵2丁目6-35 カトリック名古屋教区広報部 電話 (052) 935-2223 FAX (052) 935-2254 news@nagoya.catholic.jp 印刷所 株式会社 荒川印刷 毎月第1日曜日発行

「神からの賜物(A G I F T)を感謝し、新しい時代へ」 教区聖年 (2022 2.13 ~ 2023 5.28 聖霊降臨の主日) 教区設立 100周年

教区ホームページ 福音のひびき 5月の説教者 7日 復活節第5主日 ジョナサン・レイ・オリヴェロス・ピリアコルタ (南山教会) 14日 復活節第6主日 ティボン・レイナルド (城北橋教会) 21日 主の昇天 プルム・アーノルド (瑞浪教会) 28日 聖霊降臨の主日 九里 彰 (北陸ブロック石川地区)

名古屋教区100周年 聖年閉幕にあたっての司教メッセージ

# 神からの恵み(A GIFT)を すべての人に

教区司教 松浦悟郎

昨年、4月24日(神のいつくしみの主日)から始まった「教区聖年」は1年間の歩みを終え、名古屋教区は今年から10年目への新しい歩みを始めることになりました。この1年の間、私たちは祈りの中で教会の歴史を学ぶことによって、先人たちの深い信仰に触れ、「国籍を超えた神の国のしるしとなる共同体」を目指して歩んできました。その間に、「世界の教会からはシノドス(世界代表司教会議)への全員参加が呼びかけられ、「共に歩む教会のために」というテーマについて分かち合ったことは、とても良い機会になりました。閉幕ミサが行われる5月28日は、聖霊降臨の主日という教会誕生の日でもあります。準備を担当した青年たちは、ぜひ子どもたちや多国籍の人たちと一緒に分かち合い、共にミサで祈りたいと希望を出してくれました。弟子たちが聖霊の息吹を受け、閉じた戸を開いて出ていったように、私たちも自分の信仰を守るだけでなく、思い切つて「外」に出て、神からの恵み(A G I F T)を告げるために出ていきましょう。



神言修道会の助祭・司祭叙階式が3月18日南山教会で行われ、2人の新司祭と3人の新助祭が誕生した。新司祭は、アン・デレ・トルウン・ゴードレ・ムンとアントニオ・ホム師とアントニオ・セフ・シジヨ・コッラピツルル師、ファビアヌス・ジョン・モネ・セラノ師

## 神言修道会 助祭・司祭叙階式 華やかな雰囲気かつ 厳粛に 2司祭と3助祭誕生

とウィルフリード・リンガア・クロメン師。聖堂が受階者の出身地の信者たちの身にまとう民族衣装で華やかな雰囲気にも包まれる中、松浦悟郎司教と50人を超す司祭団、助祭団、侍者や聖歌隊を受け持つ神学生たちによって式が荘厳に始まった。

「終生誓願は修道会が行うものですが、叙階式は全教会がその役割を担い、祝うものです。今日は世界の教会と共に叙階式を喜び祈りましょう」と松浦司教は冒頭にあいさつした。

ことばの典礼の後、助祭候補者と司祭候補者が一人ずつ呼び出され、それぞれが助祭団、司祭団に加わるにふさわしい者であることを司教に認めてもらったため祭壇の前へと進んだ。

松浦司教は叙階の秘跡について解き明かした。「助祭・司祭の秘跡を受けた時からその人は聖職者と呼ばれるが、その人が聖なる人になるのではなく、聖なる職務に就くということ。聖なる方は神おひとりだから」「一人の弱い人間にもかかわらず、この私を通して神は偉大な救いの業を実現される。私自身も叙階の秘跡を受けてから「こんな私でいいのでしょうか」という思いと

「神はこんな私に声を掛けてくださった。生涯、この素晴らしい役割を生かすことができる。何と「喜びか」という二つの思いがいつも同居している」「これは相反するものではない。この二つがあつて初めて信仰に生きる喜びというものが出てくるのです。お告げを受けた時の聖母マリアがまさにそうでした。「私は卑しいはしためです」と同時に「この私を通して主は救いのわざを実現してください」。この二つがあるからこそ「私の魂は主をあがめ、救いのために喜び踊る」と賛美の

歌が出てきたのです」「私たちもマリアの思いを持って、生涯、喜びにあふれて神を賛美する。叙階の秘跡に与るとはこういうことだと思えます」そして「癒やしの油を注ぎ、いのちの言葉を送るイエスのわざ。司祭とは、そのわざを担っていく役割を叙階の秘跡によって受けた者。生涯をかけてこのことを貫く決心を新たにしましょう」と結んだ。

諸聖人の連願を全会衆で歌った後、受階者は司祭から按手と聖別の祈りをもって叙階の秘跡を受けた。司祭受階者は共同

司式に加わった司祭一人一人からも按手を受け、司祭団に加えられた。感謝の祭儀からは新司祭、新助祭が加わってミサが続けられた。共同祈願は英語、ベトナム語でも唱えられ、奉納の歌、拝領の歌ではベトナムの歌も歌われた。

閉祭の前に新司祭、新助祭が感謝と抱負を交えてあいさつし、新司祭による派遣の祝福で叙階式は終了した。

聖堂内では新司祭、新助祭と言葉を交わしたり、一緒に写真を撮る親族、友人などで賑わい、いつまでも喜びの余韻が漂っていた。

## 教区設立100周年 聖年閉幕ミサ

日時 5月28日(聖霊降臨の主日) 13時~16時

会場 名古屋カテドラル布池教会

プログラム

- 12時30分 受付開始
13時00分 第1部 分かち合いのつどい(地下ホール) テーマ「つなげよう!わたしたちの信仰」
14時30分 第2部 派遣ミサ(大聖堂) 主司式 松浦司教 教皇大使 レオ・ボツカルディ大司教列席予定
ミサの最後 派遣セレモニー

※参列は事前申込制 各小教区からは信徒1~5名と主任司祭。別紙申込用紙で5月10日(水)までに申し込む。ほかに、各外国籍(言語)グループ代表10名程度、障害者連絡会20名程度、男子・女子修道者、侍者・聖歌隊などの子ども典礼奉仕者(引率リーダー・保護者含む)、カトリック学校・諸施設代表、その他。

※オンライン配信 「分かち合いのつどい」「派遣ミサ」はライブでのオンライン配信あり。小教区、修道会、グループなどでオンライン参加希望の場合、双方向で会場との一体性のあるZoomで参加を。ただしZoomは最大参加数が100件に限られるので、参加者多数の場合、YouTubeでの参加となる。申込みは先着順。Zoomでの参加を希望の場合、名古屋教区ホームページからエントリーをしてください。YouTubeのURLは5月中旬ごろ、教区ホームページで発表されます。

※ミサではミサ曲として「ミサの賛歌B(610-614)」を歌います。

### えいごで聖句ドリル

I am the way and the truth and the life. No one ( ) to the Father except through me. わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを知らなければ、だれも父のもとに行くことができない。(ヨハネ福音書14章6節)

Q. ( )に入るのは次のうちのどれ?

- ① is ② goes ③ comes ④ went



# まつすぐな道とは限らない

## 近藤真理生神学生 司祭・助祭候補者認定式

昨年度まで名古屋教区で唯一人の神学生だった近藤真理生神学生が、この春、1年間の予科と2年間の哲学科を無事終了し、3月19日、バチカンに正式に神学生として登録される「司祭・助祭候補者認定式」に臨んだ。

式は東山教会の主日のミサに、近藤神学生の両親や教区一粒会の役員も迎えて松浦悟郎司教によって執り行われた。

松浦司教は説教の中で、まつすぐな道とは限らない召命の歩みについてわかりやすく話された。

「目の見えない貧しい人がイエスによって見えるようになった後の確信は、「あの方が治してく

浦司教、伊藤大有主任司祭、近藤神学生と両親、そして4月から東京カトリック神学院に入学する高蔵寺教会の尾関秀剛さんを囲んで茶話会が開かれた。

近藤神学生はあいさつに立ち、「やりなさい」と言われて『はい』と答えた3年間の集大成を東山教会で迎えました。共同体の皆さんと共に歩んでほしいです。父と子と聖霊に感謝」と述べた。神への信頼に満ちている

のを感じられた。これから尾関神学生と共に神学校でさらに養成を受ける二人が、主の導きにより多くの実りをもたらしますように。私は引き続きお祈りしています。(東山教会・松坂美幸)

## 近藤神学生の司祭・助祭候補者認定式にあたって

教区一粒会委員長 西村由美子



松浦司教の前にひざまずき、問い掛けに答える近藤神学生。司教の左は早川助祭、右は伊藤司祭。

日頃より神学生を祈りと献金で支援している一粒会の立場からすると、この第一歩が司祭誕生の現実味を帯びてとても嬉しく思う。この先、まだまだ長い道のりではあるが、どうか近藤神学生が神様の召命を受け止められますように。5年後、あるいはその何年か後に叙階式に臨まれる日を待ち望む心境である。

今まで名古屋教区神学生は近藤さん一人だったが、この4月に予科生として尾関秀剛さん(高蔵寺教会)が入学したことが

## 修女連定期総会 教区100周年は大きな節目

### 「内にこもらず社会に働きかける教会に」

### 「信仰同伴者となり子どもに信仰伝える」



修女連構成団体の責任者たちに語りかける松浦司教

名古屋教区女子修道会 在俗会連盟(修女連)の定期総会が3月25日に行われた。

教区設立100周年の特別聖年と第16回シンドノス準備が同時進行する大きな節目の時に、松浦司教から教区活動の現状と課題をうかがった。

司教の講話

「コロナ感染予防の規制が緩和に向かうにつれて、過去3年間滞っていた教会での分かち合いの場を多く持てるようにしたい」

「憲法9条改定問題に関して、日本社会の一員として教会の価値観を伝えること。世界のメンバーとして現存している教会が社会に対し何の働きかけもなく内ばかりこもり、教会をどのように維持しようかという話のみが持ち上がっているようではいけない。社会に対し福音をどのようにもたらすことができるかを考えないといけない」

「初聖体・堅信の後、子どもが教会から離れていく現状に対して、次世代にいかんして信仰を伝えるか。幼児洗礼後の子どもたちを福音的価値観でサポートしつつ、教会とのつながりや信仰生活を大人たちがどのように同伴できるか」

「親でもない先生でもない第三者が関わり、相談相手となることで、子どもは成長できる。今は希薄になった「近所のおばさん」文化が信仰同伴者のあり方として希望がもてる」

「結婚式披露宴を行っていたヨゼフ館、布池外語専門学校などカテドラルの周辺が様変わりする。100周年を迎え一つの時代が終わわり、役割交代

### えいごで聖句ドリル解答

③ comes

【ひとこと解説】日本語の「行く」イコール英語の go ではありません。行き先である御父 the Father は話し手であるイエスさまの本来的なところなので、日本語では「行く」でも英語では come になります。もし、イエスさまと関係のない(人の)ところに行くのなら go になります。《“Go, therefore, and make disciples of all nations.”「だから、あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい」(マタイ28・19)》



聖マリア在俗会

## 聖マリア在俗会 社会の真ただ中で 人となられたみ言葉に従う

本会は、教皇ピオ12世によって発布された在俗会に関する教令「プロヴィダ・マーテル・エクレシヤ」に示された信徒としての新しい奉獻の道です。この教令に心を動かされたゲオルグ・ゲマインダ神父(神言修道会)は1947年に本会を創立しました。

当初、「聖母カテキスタ会」と通称していましたが、80年に聖座法によ

る在俗会として正式に認可を受けました。2009年聖省の認可を受けて「聖マリア在俗会」(Secular Institute of Mary)と名称を変更しました。

在俗会はいわゆる修道会ではありません。信徒の奉獻生活の会です(教会法第710条)。

会員は自分の全存在を神に奉獻しますが、その奉獻の在り方は、福音的

勧告の誓願と会固有の使用職をもつて、人々の中で、人々と共に、すべてにキリストの精神が浸透するように働きます。それによって会員はキリストの託身の秘義を生き続けるのです(会憲9条)。

創立当時、多くの会員は教会の要望に応じて、専任カテキスタとして小教区の宣教師に従事していました。もちろん、社会の真ただ中で、助け

の塩「パン種」としてめだたないまま、世をキリストのものに変えていくことを目指して社会のあらゆる分野に携わってきてもいいです。

会員は聖マリアを模範として、どのような仕事に従事しようとも、またどのような状態に置かれていようと、聖霊の導き、恵みに支えられて神の国の喜びの福音を人々と分かち合うよう努めています。

これらの使命を一人で果たすにはありませぬ。同じ使命に召された会員は、会の目的のために互いに支え合い、助け合いながら共同体を成長させていきます。

聖マリア在俗会の会員は、韓国、インドネシアに、そして日本には97名の会員が各地で福音の証し人として生活しています。名古屋教区には現在35名の会員がいます。長年、教会専任カテキスタ、教育関係、医療関係、福祉関係などの仕事をしてきました。ほとんどの会員は高齢になっていますが、祈りと愛の業によってキリストと一致し、奉獻の喜びをもって世を神に奉獻し、感謝の生活を送っています。

「結婚披露宴を行っていたヨゼフ館、布池外語専門学校などカテドラルの周辺が様変わりする。100周年を迎え一つの時代が終わわり、役割交代

修女連も節目  
修女連も構成団体に大きな節目を迎え、2023年度の役員が以下のように決まりました。

会長 II Sr.速水智恵美 (聖霊奉持布教修道女会 継続)

副会長 II Sr.大窪順子 (幼き聖マリア修道会 新任)

書記 II Sr.谷口涼子 (純心聖母会 継続)

会計 II 成田友子 (聖マリア在俗会 新任)

今年度も司教様をはじめ信徒の方々と協力し名古屋教区発展に寄与できるように努めてまいります。(Sr.速水智恵美)



### 100周年の課題を考える

いよいよ5月28日をもって教区設立100周年の特別聖年は閉幕を迎える。松浦司教は閉幕のメッセージで「100年目の新しい歩みを始めよう」「外に出ていきましょう」と呼びかけている(一面)。しかし、これまでの歩みを検証することなくしては「新しい歩み」の方向性は定まらない。この一年間の取り組みを見てきて感じるのは、キリシタン時代や幕末・明治の教区設立前史には関心が集まるが、直近の100年間に限ってはあまりにも議論がなすすぎる。

歴史の評価も定まっておらず、研究対象とはしづらいのかもしれないが、これは私たち自身の問題なのだ。100周年を準備する司教評議会の議論では、名古屋教区100周年の節目となる三つの出来事として、①1945年までの第2

次世界大戦、②62〜65年 第2バチカン公会議、③87年第一回福音宣教推進全国会議(ナイス)があげられていた。それらの出来事を境に、社会も教会も大きく変わったからだ。

それぞれが複雑な大事業であり、多面的な分析と考察が必要だが、ここでは思いつく課題のほんの一端を示してみたい。戦時中、日本の教会は軍国主義に対して協力する道をとった。戦後50年、日本の司教団はやつと戦争責任を認め、教会内にはつねに、あれはやむを得なかった、当時の指導者は教会を守ったなどの論がつきまとう。その姿勢は今も続いているのではない。

教会には自らを客観的に見つけて浄化する能力があるのか問われている。そうでなければ教会の「預言者的」発言など社会から受け入れられないし、いよいよカトリック

### 新教会建設物語(2)

#### 稲沢教会・津島教会主任司教 早川努

稲沢・津島小教区に赴任したときには、新教会の土地はすでに購入済みで、建設に取り掛かることは既定のことであった。松浦司教は私の赴任前に両小教区を訪問した際、これから始まる建設

業務について信者に説明していた。新教会は稲沢教会からは距離があるために通うのに不安を感じ、小教区の転籍も考え、信者には、無理に急いで稲沢教会を廃止するようなことはしないと約束も交わしていた。

私は教会建設について初めてのこと、経験も知識もない中でスタートだった。司教からは早く始めるようにせよと勧められた。稲沢・津島はこれまで経験したどの教会とも

違っていた。日曜日は二つの教会のミサを午前中に梯子するため、信者とコミュニケーションがとれない。前任者は平日フルタイムで教師を勤めていた

ので、信者が平日に教会に来る習慣がない。信者と司教が話し合い、協力し合って物事を進めるのにも慣れていない。二つの共同体は同じ一人の主司教が世話をしていたとは思えないほど別の教会として歩んでいて、典禮も運営もそれぞれだ。目の前の課題だけでも山積のように思われた。

とはいえ、まずは設計事務所の選定から始まった。津島教会に設計関係の仕事にたずさわる信徒も高齢化が著しいことなどを考慮して、木造平屋

を複数手掛けた経験のある事務所だった。最後は説明に説得力のあった事務所をお願いすることになった。

その土地は津島市の市街化調整区域に該当しており、建設に取り掛かる前に行政の認可を取り付ける必要があった。市の都市計画課に赴いて説明を受け、数種類の書類を用意するほか、地図上に信者の居住地を点で記入して新教会の周辺に信者が居住していることを示したり、周辺住民への説明会を開いて理解を得ることも要求された。そこは津島市と愛西市の境界近くであるため、その両地域の自治会長に協力を求め、住民に呼びかけて説明会を開いた。

### 信じるのは同じ三位一体の神 障害者と健常者の黙想会

障害者と健常者が共に行う四旬節黙想会が3月25日、南山教会マリヤ館ホールで行われた。カトリック名古屋教区障害者連絡会(カ障連名古屋)とカリタス福祉委員会の共催。

コロナ禍で久しぶりに顔を合わせた40人を超える参加者たちは、まずその再会を喜び合った。黙想指導はカ障連名古屋協力司祭でもある山野



講話する山野神父

聖嗣神父(港教会・アウグスチノ会)。山野神父は「三位一体の神」のテーマで、午前と午後の2回、講話を行った。午前には「三位一体である唯一の神をどう説明したらよいか、昔からいろいろ考えられてきたがなかなか難しい」と切り出し、「聖アウグスティヌスは『小さな人間の頭では答えられないのが

神。人間の理解能力をはるかに超えた存在だ』と言っている」「キリスト教は神と隣人を愛することを最も大切にして、感情に左右されるのではなく理性を持って考え行動する宗教」

「旧約・新約聖書の他の使徒の時代から受け継がれてきている使徒信条を信仰の土台としている」「ユダヤ教、イスラム

教も同じ唯一の神を信じているが、違う点は、キリスト教は三位一体の第二位である御子がイエス・キリストとして見え

る姿で私たちに現れてく

ださったことだ」など、私たちが信仰する神とはどんな方なのかから始まって、神の存在を具体的に意識できるように話を進めた。

午後には、旧約聖書の中で三位一体の神を示していると思われる、神が複数形で書かれている箇所をいくつか取り上げた。神と人間に仕えるために天使が造られたこと、同じ天使の中にも多くの位があることなど、興味深い話も聞くことができた。

黙想会最後のミサでは、それぞれの障害の立場から共同祈願が祈られた。

どの祈りも自分たちの仲間を代表するようになり、真剣さを帯びた力強い祈りだった。

閉祭には参加者全員で手話を交えた「アーメンハレルヤ」を声高らかに歌い、感謝のうちに散会した。

黙想会開始前にはカ障連名古屋の総会が行われた。2022年度の活動と会計の報告があり、23年度の予定を確認した。10月に長崎で行われる3年に一度のカ障連全国大会への参加も呼びかけられた。

名古屋オルガンの秋 presents

### パイプオルガン ブランチコンサート

開演 10時30分(開場10時)  
愛知県芸術劇場コンサートホール  
入場料 1,000円  
パイプオルガン:吉田文&トーマス・マイヤー=フィービヒ  
5/31水 アール・ヌーボーの宝箱  
ドイツ・ロマン派のお洒落なオルガン曲たち  
カルク=エラート:「ボーン湖の7つのパステル画」より  
アンタルフィー=ツイロシュ:黒人霊歌によるスケッチ 他  
7/6木 星降る夜  
空と星と宇宙の浪漫  
ホルスト:「惑星」より「木星」  
ドビュッシー:「月の光」より  
ウィリアムス:スター・ウォーズ組曲 他  
チケット 二宮音楽事務所052-505-0151・  
チケットぴあ・市内各プレイガイド

### サダナ ~神への道~【入門コース】

聖イグナチオの霊性を基に「心と知性の静けさ」「神様との個人的な触れ合い」を体験します。  
日時 入門A 5月14日(日) 9:30~17:00  
入門B 6月11日(日) 9:30~17:00  
入門C 7月9日(日) 9:30~17:00  
場所 聖霊会 八事修道院 ミッションセンター  
名古屋市中昭和区八事本町1番地(駐車可)  
指導 植栗彌 神父(イエズス会)  
問合せ 挽上 暁子 メール ngosdn@gmail.com ☎050-7108-7410  
参加者喜びの声 QRコードよりご覧ください。  
(2023年度の予定)  
■リピーターの会(入門ABC経験者のみ)  
以下AとBは別内容。いずれかだけでも参加可能。  
A 11月3日(祝)、B 11月4日(土)  
■(初)フォローアップ(入門ABC経験者のみ)  
11月5日(日)  
■サダナ2(入門ABCまたはサダナ1経験者のみ)  
4日間すべて参加可能な方のみ。部分参加は不可。  
2024年1月27日(土)・28日(日) 2月3日(土)・4日(日)



おかげさう九条の会 憲法のついで

現代教育行政研究会代表  
元文部科学事務次官

### 前川喜平さん講演会

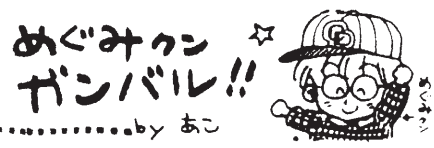
#### 「岸田首相は日本をどこへ連れていくのか？」

敵基地攻撃能力の保有、防衛費2倍化、防衛費確保の増税、統一教会問題…。日本はいったいどこへ向かうのか？

5月20日(土)  
13時30分開演(開場13時)  
せきれいホール  
☎0564-25-0511

岡崎市朝日町3-36-5  
前売700円・当日1000円  
障害者・学生は無料(事前予約)  
問合せ 神谷090-9172-4448





めぐみカン  
ガンバレ!!  
.....by あこ

使徒言行録1章11節

「ガラヤの人たち、なせ天を見上げて立っているのか?」  
「後ろに倒す気持ちで《真上》を見る」

これねコツがあるんだ  
斜め45度じゃなくて  
頭頂を直角くらい  
後ろに倒す気持ちで  
《真上》を見る

そうすると  
自分を通して天と地が  
一直線に繋がって  
神さまと目が合う

目を閉じて  
深呼吸して  
5秒間黙想

天の高みにいる  
神さまを感じる  
ストレッチ

あ、頸椎が  
弱ってる方は  
くれぐれも  
どうぞ無理の  
ないように!

お試しあれ!

- 5月の教会暦**
- 2日(火) 聖アタナシオ司教教会博士 (記)
  - 3日(水) 聖フィリポ 聖ヤコブ使徒 (祝)
  - 7日(日) 復活節第5主日
  - 14日(日) 復活節第6主日
  - 14日(日) 世界広報の日(献金)
  - 21日(日) 主の昇天(祭)
  - 26日(金) 聖フィリポ・ネリ司祭(記)
  - 28日(日) 聖霊降臨の主日(祭)
  - 29日(月) 教会の母聖マリア(記)
  - 31日(水) 聖母の訪問(祝)

- 6月の教会暦(主日・祭日など)**
- 4日(日) 三位一体の主日(祭)
  - 11日(日) キリストの聖体(祭)
  - 16日(金) イエスの心(祭)
  - 18日(日) 年間第11主日
  - 24日(土) 洗礼者ヨハネの誕生(祭)
  - 25日(日) 年間第12主日
  - 29日(木) 聖ペトロ使徒座への献金
  - 聖ペトロ
  - 聖パウロ使徒(祭)

- 5月の行事予定** (\*松浦司教)
- 6日(土) 宣司評運営委員会\*
  - 7日(日) 城東B会議
  - 9日(火) 樹の会/難民移住移動者委員会
  - 10日(水) カリタス福祉委員会
  - 12日(金) 正平委定例会・学習会
  - 13日(土) 典礼委コアミーティング

- 6月の行事以外の松浦司教予定**
- 25日(日) 濃尾B会議
  - 24日(土) 一粒会の集い(東海地区)
  - 22日(木) 司祭評議会\*
  - 20日(火) カトリック看護協会例会
  - 18日(日) 愛岐B会議
  - 17日(土) レジオマリエ名古屋クリア
  - 15日(木) 月集\*
  - 14日(水) カリタス福祉委員会
  - 13日(火) 松浦司教着座記念日/樹の会
  - 10日(土) 典礼委コアミーティング/殉教者定例会/信徒使徒職協議会大会\*
  - 9日(金) 正平委定例会
  - 8日(木) 教区顧問会\*
  - 4日(日) 宣教司牧評議会\*

- 6月の行事**
- 14日(日) 殉教者定例会/信徒協役委員会
  - 16日(火) カトリック看護協会例会
  - 18日(木) 月集\*
  - 20日(土) レジオマリエ名古屋クリア
  - 21日(日) 一粒会・委員総会
  - 25日(木) 教区顧問会\*
  - 27日(土) 教区法人評議員会\*
  - 28日(日) 布池教会堅信式\*
  - 教区聖年閉幕ミサ\*

- 6月の行事**
- 1日(木) 常任司教委員会
  - 5月の炊き出し
  - 木4日(日) 布池、11日(日) 南山・樹の会
  - 18日(土) 聖霊・南山・樹の会
  - 25日(日) 城北橋
  - 金5日(日) 希望の会、12日(日) 布池、19日(日) AJU・恵方町、26日(日) 長浦

**告知板**

1日(木) 常任司教委員会

5月の炊き出し

木4日(日) 布池、11日(日) 南山・樹の会

18日(土) 聖霊・南山・樹の会

25日(日) 城北橋

金5日(日) 希望の会、12日(日) 布池、19日(日) AJU・恵方町、26日(日) 長浦

**建設費の返済に協力を**

656件 34,949,902円  
目標額 40,000,000円 (3月31日現在)

達成率 約87.4%

郵便振替 00810-5-50605  
加入者名 カトリック名古屋教区  
通信欄に「福信館建設」と必ずご記入ください。

**世界広報の日・献金 復活節第6主日**

「世界広報の日」は、とくに新聞・雑誌・テレビ・ラジオ・映画・インターネットなどの広報媒体による宣教について、考え、祈り、献金をささげる日である。広報の重要性を再認識し、広報を通して社会と人々にどのように関わることができるか、どのように関わっているかを考えることが大切となる。

「世界広報の日」は第2パチカン公会議で定められ、1967年以来、毎年教皇メッセージが出されている。なお、多くの国では復活節第7主日がこの日に定められている。

**《学習会のお知らせ》**

**一市民による「脱原発」の思い**

～原発の部品輸入に関わっていた者からのメッセージ～

日時 5月20日(土) 14時～15時30分  
場所 教区センター2階 大会議室  
お話し 大水 修 (次世代を考える会会長・港教会信徒)  
主催 次世代を考える会  
問合せ 次世代を考える会事務局 ☎090-9179-7334(西谷)  
※お気軽にご参加ください。

**名古屋教区カトリック女性の会「樹の会」**

**第16回総会・講演会**

日時 5月20日(土) 13時30分～15時  
会場 カトリック膳棚教会パウロ館  
(名古屋市営地下鉄桜通線「瑞穂運動場西」駅1番出口 徒歩2分)  
※公共交通機関をご利用ください。

予定  
総会 13時30分～14時 (13時受付)  
講演会 14時10分～15時 (13時40分受付)  
テーマ 「人との関わりの中で生かされて」  
講師 河村公子さん  
(名古屋教区難民移住移動者委員会事務局・稲沢教会信徒・いのちの電話にも長年関わる)

会費・参加費 無料(難民支援献金あり)  
その他 講演会参加は男女を問いません。  
ミニバザーあり。  
連絡先 樹の会事務局  
電話 090-7024-9626 金森

**クリスマス献金の報告**

待降節から始まった「クリスマス献金」の集計が出ましたので、支援先とあわせて報告します。2022年度は教会・修道会・病院・幼稚園・個人から、41件1,161,290円(振込手数料をのぞく金額)を受け取りました。ご協力、誠にありがとうございます。

支援団体は下記のとおりです。

支 援 先	支援金(単位:円)
福信館・炊き出し部	249,882
福信館建設	22,717
岐阜ダルク	68,150
名古屋ダルク	45,433
三河ダルク	45,433
リカバリーセンターフェロー・名古屋マック	45,433
NPO 法人セカンドハーベスト名古屋	261,240
RASA ジャパン	45,433
愛知聖ルカセンター・国際こども学校を支援する会	45,433
いこいの家	45,433
名古屋教区・外国人生活困窮者支援シェルター※	286,703
合 計	1,161,290

※名古屋教区・外国人生活困窮者支援シェルターとは  
名古屋教区難民移住移動者委員会を中心に支援する危機的状況の中にある滞日外国人の身を守るための一時的避難所。コロナにより職を失い住む場所もなくなった技能実習生などが利用。2020年から男性用、女性用として2か所が設置された。愛の実行運動本部が運営を担当し、現在も運営継続中。

名古屋教区カリタス福祉委員会 〒466-0037 名古屋市昭和区恵方町2-15  
電話 052-852-1426 Fax 052-852-1422

**2023年度正義と平和委員会学習会**

年間テーマ **「やられた方から歴史を見る パート2 ～誰一人置き去りにしない～」**

日時・場所	テーマ	講師
5月12日(金) 10時30分 福信館	ホームレス状態にある女性たち	東岡牧さん (野宿者を支援する会)
7月14日(金) 10時30分 福信館	性的マイノリティーに生きて	後藤香織さん (聖公会司祭)
9月8日(金) 10時30分 福信館	DVの女性被害者	駆け込みセンター愛知
11月10日(金) 10時30分 福信館	里山を再生する農業をめざして	早川しょう子さん (No nukesとエコ・東濃)
2024年 1月12日(金) 10時30分 福信館	フクシマからの避難者	岡本早苗さん(だまっちゃんおれん! 原発事故人権侵害訴訟・愛知岐阜原告団長)

「やられた方から歴史を見る」ということは、イエスに従う私たちの現実に対する姿勢につながります。社会も、組織も、誰一人残さないことを軸とする包摂的でないのちのつながりとなる営みが、現代の福音の生き方であると信じています。」  
(弘田しずえ『福音宣教』2022年1月号)

問合せ カトリック名古屋教区正義と平和委員会  
〒461-0004 名古屋市東区葵2-6-29 福信館気付  
FAX 052-935-7195

**▼ Sr. 浦田カズ代展と詩集の出版**

熱田教会のステンドグラス・壁画の作品でも知られる純心聖母会シスター浦田カズ代さんが東京・銀座の教文館で個展を開く(5月13～21日)。愛知県立芸大・大学院の出身で、昨年5月には「風」をテーマに名古屋でも個展を開いた。その作風は透明感と温かさ、親しみやすさと神聖さを併せ持ち、キリスト教信仰の有無にかかわらず、見る人に創造主の愛と力を感じさせる。個展と同時に絵画詩集『いのちの扉に光射して―浦田カズ代 絵画・詩集―』(教友社、1760円税込)も出版予定。今回は「光」がテーマ。今から楽しみだ。

**ウクライナ戦争被災者支援クラウドファンディングにご協力を**

愛の実行運動本部は、日本カトリック障害者連絡協議会と共に、ウクライナの戦争被災者、病人、高齢者、障害者、子ども、女性への支援活動のため、クラウドファンディングを立ち上げた。クラウドファンディングとは、インターネットを介して不特定多数から少額ずつでも広く資金を募る仕組みのこと。今回は募集期間が3月13日(月)～6月12日(月)。目標金額500万円。集まった基金はカリタスウクライナや駐日ウクライナ大使館とも連絡を取り合っており、とくに防寒用品の購入に使いたいとしている。

くわしくは、こちらから➡  
<https://congrant.com/project/ainojkkouundo/6231>

問合せ 愛の実行運動本部 電話 052-838-5340(下村) 電話 052-852-1426(村上) Eメール: ainojkkouundo@gmail.com  
主催 愛の実行運動本部 / 共催 日本カトリック障害者連絡協議会  
後援 DPI 日本会議・全国自立生活センター協議会・社会福祉法人 AJU 自立の家